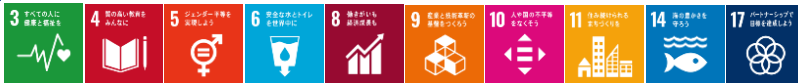


重点戦略4 魅力的な弥富市をつくる

総合計画 P151～152

●関連するSDGs



◆近い将来の発生が危惧されている南海トラフ地震や多発する集中豪雨等の自然災害に備え、ハード・ソフト両面からの防災・減災対策に取り組みます。

◆人生100年時代を生き抜くため、誰もが自分らしく暮らせるよう、性別、年齢、障がいの有無、国籍等にかかわらず、個性や多様性が尊重され、いつでも学び、様々な活動に参画できるようにすることで、生きがいを感じながら暮らせる環境づくりを進めます。

◆都市的機能の集約や公共交通等移動手段の利便性向上を図ることで、コンパクトなまちづくりを推進します。

■数値目標の達成度

【達成度】◎：目標値超過を見込む、○：目標値同等を見込む、△：目標値は達成困難、—：把握が困難

数値目標	単位	現状値	各年度の実績値【DO】					目標値	達成度【CHECK】
			令和4年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度		
市への愛着度	%	70.6	—					75	—
数値目標の分析			—						

施策の方向性1 危機管理が行き届いた災害に強いまちづくり

■主な取組(事業)の評価

【評価】必要性・妥当性・有効性・効率性の評価観点において課題がない場合は★(最大評価:★★★★)

主な取組(事業)の名称【PLAN】	事業費【DO】	評価【CHECK】	この1年間の成果を踏まえた今後の進め方【ACTION】	方向性
(1)災害対策事務事業	1,281	★★★★	大規模災害に備え、引き続き避難所や防災倉庫などに災害対策用資機材を計画的に配備していきます。	拡充
(2)防災施設管理事業	5,986	★★★★	大規模災害に備え、防災倉庫、行政防災無線などの防災施設の適切な管理を実施していきます。	継続(現状維持)
(3)排水路管理事業	52,242	★★★★	今後も各地区からの事業申請に基づき、現地調査を行い、優先順位を付け適切に維持管理を行います。	継続(現状維持)
(4)緊急時避難場所確保事業	0	★★★★	現状は人口に対し緊急時避難場所の面積は確保できていますが、地区により隔たりがあるため、更なる確保を進めていく必要があります。	拡充
(5)自主防災組織活動支援事業	4,180	★★★	引き続き地元要望を聞きながら、地域に合わせた防災資機材の提案や防災訓練の内容調整を検討しながら進めていきます。	継続(改善)
(6)防災訓練・防災学習事業	230	★★★★	本市の未来を担う子どもたちの防災意識向上のため、保育所及び小学校における避難訓練及び防災教室の実施や、小学校における防災キャンプの開催は非常に重要な意義をもっています。特に、4小学校による合同防災キャンプでは各種企業・団体や愛知黎明高校と連携して実施しており、地域防災力の向上にも繋がります。今後も、防災教育活動を引き続き実施し、防災の普及啓発及び意識向上を図っていきます。	継続(現状維持)

■重要業績評価指標(KPI)の達成度

【達成度】◎：目標値超過を見込む、○：目標値同等を見込む、△：目標値は達成困難、—：把握が困難

重要業績評価指標(KPI)	単位	現状値	各年度の実績値【DO】					目標値	達成度【CHECK】
			令和4年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度		
(4)津波・高潮緊急時避難場所の指定箇所数	か所	58	75				75	○	
(5)防災訓練を実施した自主防災組織の数	団体	17	23				60	△	

■施策の方向性1の今後の進め方

この1年間の成果を踏まえた今後の進め方【ACTION】

大規模な風水害・地震等の自然災害に備え、施設整備、資機材の配備等を引き続き実施していきます。また、子どもの防災意識を高めるため、保育所及び小学校における避難訓練、防災教室、防災キャンプ等を継続的に取り組んでいくことが必要です。一方、緊急時避難場所や自主防災組織に関しては、民間施設との協定による避難場所の確保や、状況に応じた適切な対応に努めていきます。

施策の方向性2 人と人がつながるまちづくり

■主な取組(事業)の評価

【評価】必要性・妥当性・有効性・効率性の評価観点において課題がない場合は★(最大評価:★★★★)

主な取組(事業)の名称 【PLAN】	事業費 【DO】	評価 【CHECK】	この1年間の成果を踏まえた今後の進め方 【ACTION】	方向性
(1)ファミリー・サポート・センター事業	7,983	★★★	市と地域住民(協力会員)が協働して子育て支援を行うという側面があり、市が直接運営する意義は大きいと考えます。協力会員の確保が課題であり、適時適切な支援が常時可能となるよう、事業の啓発の強化に努め、会員の確保に繋げる必要があります。	継続 (改善)
(2)ささえあいセンター事業	807	★★★	協力会員が少ない地区に出向き、生活支援サポーター養成研修を開催することで新規協力会員の確保に繋げるとともに、ささえあいセンター事業の周知啓発に努め、「住民同士支え合う」気持ちが育まれるよう働きかけていきます。	継続 (改善)
(3)障がい者ボランティア活動補助事業	20	★★★	障がい者の社会参加を促進するためには、ボランティア団体や実際に支援の担い手となるボランティア人材の確保が重要であるため、引き続き補助を行うとともに、団体を所管する社会福祉協議会との連携強化に努めます。	継続 (改善)
(4)協働のまちづくり推進事業	1,279	★★★	行政と連携・協働しながら地域課題等が解決できるよう、各市民活動団体等の活動を支援するために補助金要綱の見直しを進めていく必要があります。	継続 (改善)
(5)ヤトミーティングプロジェクト事業	4,997	★★★★	本事業に参画・参加する人数を増やすため、市民に対して法人の目的や実施する事業について分かりやすく伝えるとともに周知する必要があります。また、今後も社会動向やトレンド、類似団体の事例等の情報収集や市民協働の推進等を調査・研究していく必要があります。	継続 (現状維持)
(6)地域活動事業	6,509	★★★	コミュニティ主催の各種事業はコロナ禍前の状況に戻りつつありますが、コミュニティが各種事業を実施する必要性に対して疑問視する声や、各種事業を支える役員等の担い手不足も深刻な課題となっており、コミュニティの必要性・重要性について広く市民に啓発をしていく必要があります。	継続 (改善)

■重要業績評価指標(KPI)の達成度

【達成度】◎: 目標値超過を見込む、○: 目標値同等を見込む、△: 目標値は達成困難、—: 把握が困難

重要業績評価指標 (KPI)	単位	現状値		各年度の実績値 【DO】					目標値	達成度 【CHECK】
		令和4年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度	令和10年度		
(1)ファミリー・サポート・センター会員数	人	724	670						820	△
(2)ささえあいセンター事業活動時間	時間	8,343	8,361						12,400	△
(3)福祉ボランティア登録者数	人	84	70						92	△
(4)地域づくり補助金活用団体数	団体	26	33						48	○
(5)地域資源バンクの登録件数	件	—	172						350	○

■施策の方向性2の今後の進め方

この1年間の成果を踏まえた今後の進め方 【ACTION】

少子高齢化や地域コミュニティの希薄化が進む中で、地域住民同士による共助の仕組みを確保するため、ファミリー・サポート・センター事業等の実施や福祉ボランティア等への支援を継続・改善し、地域住民との協働による持続可能な運営に取り組みます。

また、地域の課題を共有し、多様な交流の場を通じて相互理解と協働を促進するための活動及び団体を支援し、人と人がつながるまちづくりを推進します。

施策の方向性3 地域公共交通と連携したコンパクトなまちづくり

■主な取組(事業)の評価

【評価】必要性・妥当性・有効性・効率性の評価観点において課題がない場合は★(最大評価:★★★★)

主な取組(事業)の名称 【PLAN】	事業費 【DO】	評価 【CHECK】	この1年間の成果を踏まえた今後の進め方 【ACTION】	方向性
(1)コミュニティバス運行事業	114,927	★★★	高齢化や運転免許返納者の増加により、交通弱者に対する交通手段の確保が喫緊の課題ですが、市内全域におけるデマンド交通の実証実験を通じて、課題が解決されるか検証していきます。	継続 (改善)
(2)J R・名鉄弥富駅自由通路及び橋上駅舎化事業・弥富駅北口交通広場等整備事業	139,050	★★★★	今後も事業目的の達成に向けて、計画通り事業を進めていきます。	継続 (現状維持)
(3)車新田地区土地区画整理事業	19,250	★★★	今後も事業目的の達成に向けて、事業化検討パートナーと調整を図り、事業を進めていきます。	継続 (改善)
(4)区域区分・用途地域見直し事業	18,865	★★★★	今後も事業目的の達成に向けて、計画どおり事業を進めていきます。	継続 (現状維持)

■重要業績評価指標(KPI)の達成度

【達成度】◎:目標値超過を見込む、○:目標値同等を見込む、△:目標値は達成困難、—:把握が困難

重要業績評価指標(KPI)	単位	現状値 令和4年度	各年度の実績値【DO】					目標値 令和10年度	達成度 【CHECK】
			令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度		
(1)コミュニティバス等利用者数	人	73,828	75,939					100,000	△
(3)市街化区域面積	ha	1,110	1,110					1,150	○

■施策の方向性3の今後の進め方

この1年間の成果を踏まえた今後の進め方【ACTION】

コミュニティバスをはじめとする地域公共交通については、デマンド交通の実証実験を踏まえ、地域の特性や実情に沿った公共交通網の編成を行っていく必要があります。人口減少や少子高齢化等の社会構造の変化に対応すべく、持続可能な街づくりを目指し、J R・名鉄弥富駅自由通路整備事業を推進していきます。J R・名鉄弥富駅自由通路整備事業に合わせて、弥富駅周辺地区の整備事業の推進、また、車新田地区のまちづくりを推進していきます。